

# 区政への一般質問(要旨)

〈全文は、板橋区議会ホームページに掲載します〉



しば佳代子  
(公明党)

## 防災対策について問う

【質 問】①災害時の避難所運営においては、冷静な判断が必要。避難所運営机上訓練の導入を。②妊産婦が安心して避難場所を確保するため、地域病院との連携を。  
【区 長】①総合防災訓練において、具体的な方法などを情報提供し、実施を促すとともに、防災訓練メニューにも取り込み、普及を図る。②体調不良などの場合には、速やかに医療機関につなげるよう連携体制を整える。

## 地域問題について問う

【質 問】①西台駅から高島平九丁目に向かつての道路について、歩道拡幅の進捗状況は。②高島平五丁目住宅サービスセンター跡地は、民間誘致により介護施設を新設する構想がある。施設の中に、地域の高齢者が活動できるスペースの設置を。  
【区 長】①都は拡幅にあたって課題を抽出している。今後も都の動向を見ながら、要望を続けていく。②第一種低層住居専用地域のため施設規模が限定されるほか、民間の介護保険施設となるため、スペースの設置は難しい。  
※以上のほか、保育、障がい者施策、高齢者施策、大人の自転車マナー講習会について質問があった

## いじめ防止について問う

【質 問】学校の様々な問題に対し迅速な課題解決を図る学校緊急対応チーム(S.T.A.R.T.)を活用した教員研修を。  
【教育長】いじめ問題に対し、教員がより的確に対応できる力を身につけるために、S.T.A.R.T.がかかわって解決した事例などを研修で活用する。

## 乳がん検診について問う

【質 問】乳がんの早期発見



かいべとも子  
(公明党)

## LED照明化による省エネルギーの推進を

【質 問】本庁舎、区施設および街路灯の照明をすべてLED照明にすることで、エネルギーリットによる経費削減と省エネルギーの推進を。  
【区 長】エネルギー削減効果の高い設備更新を計画的に進めながら、消費エネルギーの削減を進めていく。

## 災害時における要援護者支援について問う

【質 問】現在、要援護者名簿の提供先は警察署、消防署、消防団、住民防災組織、民生委員の5つの支援機関から本人が選択している。災害時、確実に支援の手が届くよう5機関すべてに情報提供を。  
【区 長】要援護者支援機関

【質 問】①区の行政評価によると、改革や改善に向けた積極的な動きが見られないと報告されたが区長の見解は。②施策・事務事業の内容が社会の変化に対応していないなどの指摘がある。改善策は。③新たな行政評価制度が見直しとなり、制度導入が25年度となったが区長の見解は。  
【区 長】①結果を踏まえて、経営革新計画の改定において、改革に向けたより積極的な姿勢



杖ホルダー



小林公彦  
(公明党)

## 行政評価について問う

【質 問】①区の行政評価によると、改革や改善に向けた積極的な動きが見られないと報告されたが区長の見解は。②施策・事務事業の内容が社会の変化に対応していないなどの指摘がある。改善策は。③新たな行政評価制度が見直しとなり、制度導入が25年度となったが区長の見解は。  
【区 長】①結果を踏まえて、経営革新計画の改定において、改革に向けたより積極的な姿勢

## 貧困の連鎖について問う

【質 問】生活保護自立支援における高校進学支援プログラムでの学習資金支援制度は、他区と比較した保護率の高さを鑑み、もう一歩進んだ制度

【区 長】本庁舎や各施設に必要な窓口に、高齢者や障がい者が利用しやすいような形状、材質のものを設置していく。  
【質 問】JR東日本に対して、浮間舟渡駅への埼京線快速電車の停車と駅の西側への改札設置の申入れを。  
【区 長】機会をとらえ要望を行っているが、実現には至っていない。引き続き、浮間舟渡駅周辺の環境の変化について理解を求め、実現に向けて粘り強く要望していく。  
※以上のほか、環境問題、板橋かたつむり運動、「骨髄ドナー助成制度の創設」に対する取組み、区民に夢と希望の情報提供と人材バンクの創設、福祉用具購入費および住宅改修費の受領委任払い制度、区立小中学校の給食、設立20周年を迎えた植村冒険館について質問があった

## 浮間舟渡駅の利便性について問う

【質 問】JR東日本に対して、浮間舟渡駅への埼京線快速電車の停車と駅の西側への改札設置の申入れを。  
【区 長】機会をとらえ要望を行っているが、実現には至っていない。引き続き、浮間舟渡駅周辺の環境の変化について理解を求め、実現に向けて粘り強く要望していく。  
※以上のほか、環境問題、板橋かたつむり運動、「骨髄ドナー助成制度の創設」に対する取組み、区民に夢と希望の情報提供と人材バンクの創設、福祉用具購入費および住宅改修費の受領委任払い制度、区立小中学校の給食、設立20周年を迎えた植村冒険館について質問があった

## 家庭福祉員制度を問う

【質 問】①24年11月に家庭福祉員に預けられていた生後9か月の乳児が亡くなった。再発防止を確実にを行うためにも、家庭福祉員制度における子どもの安全は、福祉員個人だけでなく区が責任を負うべきでは。②福祉員一人で複数の乳児を預かることの問題点と課題を整理し、検証することが必要では。③看護師の巡回の実施を。  
【区 長】①安全保育マニュアルや緊急時の対応マニュアルを配付し、安全管理を徹底している。また、保育サービスクの職員が定期的に巡回指導している。②複数の家庭福祉員が共同で保育を行う保育施設を、事業委託で実施する方法の検討を進めたい。③看護師の巡回は困難。

【質 問】①ごみ屋敷への対策として区内連携して知恵を出し合う仕組みを作るべき。②成増四丁目には、十数年間

## 金融円滑化法の期限切れ対策について問う

【質 問】大田区のように中小企業融資策や制度融資を紹介する特別相談窓口の設置を。  
【区 長】期限切れ後、事業継続などに関する相談が増加する可能性がある。産業振興公社との相談窓口一元化などを公社とともに検討を進めている。

## 公共施設マネージメントについて問う

【質 問】「公共施設等の整備



熊倉ふみ子  
(共産党)

## ごみ屋敷状態が続いているケースがある。早急に対処を

【区 長】①庁内検討組織を設置し、ごみ屋敷に関する情報の共有と、解決に向けた連携体制や方策の検討をしていく予定。②対応しなければならぬ課題と位置付け、解消の方策の検討を進めていく。

## 地域要望の実現を

【質 問】①三園二丁目地域に公園と集会所の設置を。②成増三丁目の東京国税局宿舎の跡地利用について、区民の要望にこたえる有効活用を国や関係機関に働きかけを。  
【区 長】①三園二丁目地域に公園が不足していることは



東京国税局成増寮

※以上のほか、消費税増税とT.P.P.の区民への影響、食の安全、坂本区長がすすめる計画、貧困の連鎖を断ち切るために、原発に替るエネルギーについて質問があった



大田伸一  
(共産党)

## 短期証交付対象の拡大を

【質 問】国民健康保険の短期証交付対象を現行の70歳以上から60歳以上に拡大を。  
【区 長】負担の公平性の観点から考えていない。

## 耐震対策の強化を

【質 問】①区施設の非構造部分の耐震化状況の把握を。②住宅の家具転倒防止器具の取付けは、最低限の対応として100%設置をめざすべき。  
【区 長】①職員による点検を検討する。点検の結果により今後の対応を検討する。②周知・啓発を進め、自主的な取付けをさらに促進する。

## 教員の勤務実態を問う

【質 問】子どもの豊かな発達には教員のゆとりある労働条件によって支えられなければならない。教員の勤務実態をどのように認識しているか。  
【教育長】十分な休憩が取れないこと、残業や休日出勤を